

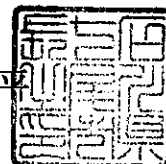


収土木第 273 号
平成20年10月16日

国土交通省道路局

局長 金井 道夫 殿

七尾市長 武元 文平



今後の道路行政についての意見・提案の提出について

平成20年9月19日付国道企第37号にて依頼のありました標記について、
別紙のとおり提出いたします。

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ①

石川県七尾市

①道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

○「道路」は経済、社会活動を支える最も基礎的な社会基盤

- ・能登地域は人口の減少、高齢化により過疎化が進行



- ・公共交通機関のバス路線の縮小・廃止



- ・生活の移動に自動車が必要



- ・車に依存せざるを得ない「道路は生命線」である

○強く望まれている道路整備

- ・災害・雪害に強い道路網の整備
- ・観光振興や地域産業の活性化に資する道路整備
- ・少子・高齢化にも資する道路整備

○安定した道路整備財源の確保

- ・地方の多くは、道路特定財源だけでは不足し、多額の一般財源を投入
- ・税制の抜本改革にあたっては、地方への配分割合を高め
- ・地方が主体的に道路整備がおこなえる財源を確保

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ②

石川県七尾市

②-1 地域の現状と抱える課題

○現状

①災害に対応した道路が未整備

- ・緊急避難道路、緊急輸送路や医療機関への交通アクセスの不足

②観光産業を基軸とした地域産業の低迷・衰退

- ・大都市圏とを結ぶ道路網の未整備

③少子・高齢化に歯止めがかからない

- ・半島地域は都市に比べ、十分な医療や教育サービス等を受けることが困難
- ・日常生活道路の整備が遅れている

○課題

①地震等の災害時に対応できる道路網

- ・逃げ場の少ない半島地域を意識した複数の緊急避難道路の整備

②観光誘客や地域産業活性化に資する道路網

- ・都市との時間(距離)の短縮
- ・物流コストの低減
- ・各観光拠点を結び、観光圏の形成
 - ※観光圏を形成し2泊3日以上滞在型観光を目指す(観光庁)
- ・自転車専用道路網等の形成
- ・絶景(景観)スポットを活用した施設整備
 - ※「道の駅」にとられない駐車場、トイレ、休憩施設等の整備
- ・道路空間の環境対策
 - ※街路樹、休憩ベンチ等の設置

③少子・高齢化対策にも資する道路

- ・中山間地域住民の生活を守る道路整備

②-2 地域の目指すべき将来像

第1次七尾総合計画の概要

○基本構想計画期間(平成21年度～平成30年度:10年間)

○七尾市の将来象を

七尾湾と温泉を活かした 能登から世界への架け橋
人 が 輝 く 交 流 体 感 都 市

○まちづくりの基本方針

・市民が主役のまち

自分のまちは自分でつくる、市民がまちづくりの主役のまち

・活気あふれる元気なまち

地域に根ざした産業が活気あふれて、市民が元気なまち

・文化の薫る美しいまち

七尾市の歴史・伝統文化が薫り、自然や景観が美しいまち

・安全で住みよいまち

安全で安心して生活することができる、誰もが住みよいまち

○重点プロジェクト

・目標・・・「人口減少下における持続可能なまちづくり」

・3つのキーワード・・・①「ひとづくり」 ②「経済活性化」 ③「安全・安心」

・7つの重点プロジェクト・・・①協働のまちづくりプロジェクト

②郷土に誇りと愛着を持つひとづくりプロジェクト

③交流を軸とした地域経済活性化プロジェクト

④安全・安心なまちづくりプロジェクト

⑤地域産業を支える人材育成プロジェクト

⑥地域生活を支える人材育成プロジェクト

⑦市民生活を支える雇用創出プロジェクト

今後の道路行政についての意見・提案

様式 ④

石川県七尾市

③道路施策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
② 幹線道路ネットワークの形成	① 4点セットによる道路整備 ・能越自動車道 ・一般国道159号七尾バイパス ・一般国道249号藤橋バイパス ・一般県道城山線	① ・中京圏など大都市部からの観光客の増加による交流人口の拡大 ・地元に取りれる生鮮食料品(鮮魚・やさい)等の販路の拡大	
① 地域経済を支える道路づくりの推進	② ・県道七尾・鳥屋線(七尾道路)	② ・物流拠点である七尾港などの各拠点へのアクセス道路 ・交通渋滞の解消や地域間交流の促進	
③ 安全・安心道路づくりの推進	③ ・市道矢田郷81号線 ・国道249号横見道路の改修	③ ・地方では、公共交通機関が少なく自家用自動車が生活の一部であり、特に冬期間の雪害対策強化が図られる ・能登半島地震の体験から緊急輸送道路の確保	